

2025

8

August
No. 390

広
報

みしま

県中体連陸上男子砲丸投げ優勝
三島中3年 にへいしんご 二瓶伸悟さん（西方）
全国大会（沖縄）出場権獲得

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

ふるさと運動 50周年記念事業

令和7年7月8日、三島町民センター大ホールにおいて、ふるさと運動50周年記念事業「美しい村シンポジウムIN三島町」が開催されました。本シンポジウムは三島町が平成24年から加盟している「日本で最も美しい村」連合の理念等を再確認し、町内他団体が実施している地区づくりを知り、会社等による多角的な観点での町づくりを学ぶことで、町民の皆さまの今後の美しい地区づくり等の参考としていただくことを目的に実施したものです。NPO法人「日本で最も美しい村」連合資格委員の山田泰司氏による講演、役場産業建設課小松昭課長による町の美しい村づくりの取り組みの発表、三島町地区支援事業の代表者による活動発表、そして「これからどんな『最も美しい村・三島町』を創っていくか」をテーマとしたシンポジウムを実施しました。

講演では、これまで「景観を良くする取り組み」と捉えられがちであった「最も美しい村」連合の目的は「地域の自立である」との説明を山田氏よりいただき、参加者の意識に変化が生まれました。

また、町の美しい村づくりの発表では「会津地鶏の鶏糞を堆肥化して作物を育てる取り組み」を紹介させていただきました。

地区支援事業の活動発表会では、各地区共通の課題である「マンパワー不足」への対応として、早戸地区の「大学生との連携」といった先進的な取組が紹介されました。

シンポジウムでは、「地域は自ら守る」という吉田氏の言葉に代表される今後の「最も美しい村」づくりの方向性が示されました。

そして、三島町が昭和49年から取り組んできた「ふるさと運動」はまさに「日本で最も美しい村」づくりの取り組みであり、今後の50年を「ふるさと運動PART2」などと銘打って推進していく意識を新たにしたい、50年節目のシンポジウムとなりました。

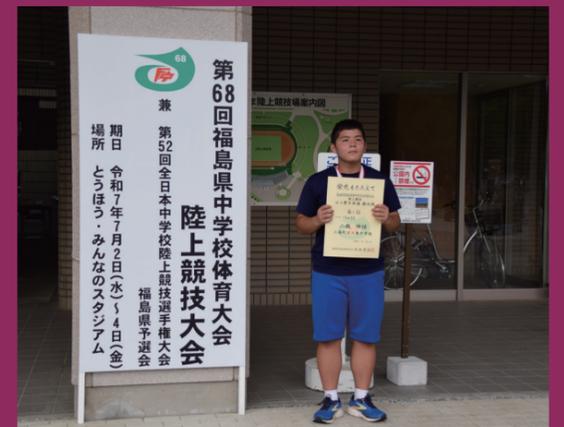
美しい村シンポジウム IN 三島町

【シンポジウム実施プログラム一覧】

| 講演 | |
|--|------------------------------|
| 「最も美しい村とは、どんな村？」 | NPO法人「日本で最も美しい村」連合資格委員 山田泰司氏 |
| 三島町の美しい村づくりの活動発表 | |
| 「三島町の未利用資源の活用による循環型農業の取り組み～タダの資源を活動しよう～」 | 産業建設課長 小松昭 |
| 三島町地区支援事業 活動発表会 | |
| ① 名入ざる菊の郷プロジェクト実行委員会 | 代表 五十嵐公男氏 |
| ② 早戸地区 | 橋本光五郎氏 |
| ③ 大石田地区 | 区長 秦和幸氏 |
| ④ 西方共有財産管理会 | 会長 小松一利氏 |
| ⑤ ボランティア R400 花の会 | 会長 二瓶敏氏 |
| ⑥ かしゃ猫クラブ | 会長 菅家壽一氏 |
| ⑦ 川井地区 | 区長 森田勝氏 |
| ⑧ 高清水地区 | 区長 矢澤倉一氏 |
| ⑨ 大登地区 | 区長 渡部秀雄氏 |
| シンポジウム「これからどんな『最も美しい村・三島町』を創っていくか」 | |
| 【進行】NPO法人「日本で最も美しい村」連合 | 資格委員 山田泰司氏 |
| 【登壇者】佐久間建設工業株式会社 | 取締役副社長 吉田伸明氏 |
| NPO法人まちづくりみしま | 代表 佐久間宗一氏 |
| かしゃ猫クラブ | 会長 菅家壽一氏 |
| 工房あかるむ | 志田明恵氏 |
| 総評 | |
| 三島町長 | 矢澤源成 |

おめでとう

県中体連陸上砲丸投げ優勝 全国大会標準記録突破！



第68回県中学校体育大会陸上競技は、7月2日から福島市とうほう・みんなのスタジアムで開幕し、初日に男子共通砲丸投げ決勝が行われ、三島中3年の二瓶伸悟さん（西方）が自己記録を35cm更新する、13m33cmで見事優勝しました。

この記録は、全国大会の参加標準記録（13m30cm）も突破し、8月17日から沖縄県で開催される全国大会に出場を決めました。

二瓶さんは、1年生の冬から佐瀬教諭の指導の下で、本格的に砲丸投げを始め、冬の期間でも体育館の中で練習を重ねてきました。毎朝マンツーマンで練習に取り組み2m近く記録を伸ばしてきました。

普段はあまりプレッシャーを感じないが、先生から「13m飛ばしてこい！」と背中を押され「ほどよい緊張感で臨めた」とのことで「友達や家族の応援もうれしかった」と表情を緩ませていました。

全国大会では、「14m超えを目指し、先生や家族の笑顔を見たい」と話していました。

紙ゴミの分別できていますか？

目標は燃えるゴミ一人あたり一日 260g 減

令和8年度より会津若松市にある燃えるゴミ焼却炉が新しくなります。新施設は、人口減少やごみ削減を見込んで現施設よりも処理能力が低くなるため、住民の皆さんに更なるゴミ減量への取組をお願いしています。燃えるゴミを減らすために、資源ごみを正しく分別することが重要です。

リサイクル可能な紙類



＜雑誌・冊子の出し方＞

紙紐で縛って出します。ホチキスを取り除く必要はありません。



＜雑がみの出し方＞

「雑誌・チラシ・その他紙製容器」の収集日に指定の場所に出します。基本的に紙紐で縛りますが、まとめづらい小さなものは紙袋などにひとまとめにして出してもよいです。



＜次回予告＞

燃えるゴミの約5割を占める生ごみ、次号では生ごみの減量に成功している国内の成功事例を紹介します。ゴミの出し方で分からないことがあれば、お気軽にご連絡ください。

町民課町民係 ☎ (48) 5555

ふるさと運動 50周年記念事業



▲ 地区支援事業発表会の様子（早戸地区 橋本氏）



▲ 山田泰司氏による講演



▲ シンポジウムの様子（左から佐久間氏、吉田氏、志田氏、菅家氏）



▲ 小松昭課長による活動発表

ふるさと運動50周年記念 特別町民の集い IN 三島町

令和7年8月10日(日)・11日(月)

三島町は昨年、ふるさと運動が始まってから50年の節目の年を迎えました。その間、三島町は特別町民の皆さんと手を取り合い、進んでまいりましたが、近年は特別町民のみならず、ふるさとへの思いやアイデアをもちつくり出す仲間が増えてきています。

今年、特別町民の集い IN 三島町では、三島町の思い出と未来を語る茶話会として、ご参加のみなさまとともに話やかに語り合い、懐かしいふるさとの昔話に耳を傾け、昭和40年代の貴重な映像を見つめ、思い出の思い出等を語るツアーを企画いたしました。久しぶりにお話を三島町で過ごしながら、一緒に三島町の未来を考えていただければ幸いです。

町民のみならず、多数のご参加お待ちしております。

会場 三島町町民センター 大ホール
参加費 12,000円（夕食懇親会・宿泊される方）
6,000円（夕食懇親会のみの方）
無 料（夕食懇親会・宿泊なしの方）
※ 宿泊は先着25名、夕食懇親会参加は先着30名とります。
※ Zoomでの視聴をご希望の方はお問い合わせください。

募集期間 6月13日(金)～7月22日(火)

この事業は「地域創生総合支援事業（サポート事業）」により実施いたします。

【実行企画・実施】 町内屋グループ株式会社 奥会津観光
〒969-7209 福島県河沼郡柳井大字八字町乙109-10
総合旅行業務取扱管理者：大森茂樹
総合旅行業務協会正会員福島県知事登録旅行業2-348号

○お申込み・お問合せ先
三島町役場 地域政策課
〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下350
TEL 0241-48-5533 / FAX 0241-48-5544
seisaku@town.mishima.fukushima.jp

三島町には現在、二百名程の特別町民の方々がおります。このイベントは、現在、毎月の町広報誌や年末のふるさと小包の発送といった、単方向になってしまっている特別町民及び各三島会の皆さまとの関わり方を寄り良いものにしていくため、その在り方を町民の皆さまと特別町民及び各三島会員の皆さまと一緒に話し合い、方策を見出すために実施するものです。

「特別町民及び各三島会の皆さまとこのような関係を築けたら」という願いやご意見をお持ちの町民の皆さまがいらっしゃいましたら、ぜひ会場に足をお運びください。

なお、夕食懇親会及び宿泊にもまだ空きがありますので、ご希望される方は8月6日(水)まで役場地域政策課にご連絡ください。

特別町民の集い IN 三島町 を実施します

地域政策課政策係 ☎ (48) 5533

第78回 福島県総合スポーツ大会 地域スポーツ大会両沼大会!



壮年ソフトボールの試合
【湯川村会場】



熱き夏の戦いの日
7月6日に第78回福島県総合スポーツ大会地域スポーツ大会両沼大会が開催されました。今年、6つの町村に会場が分かれ、本町からは、壮年ソフトボール（湯川村湯川村宮野球場）、家庭バレーボール（会津坂下町坂下南小学校体育館）、ラージボール卓球（三島町三島中学校体育館）の3種目に出場し、それぞれ日々の練習の成果を存分に発揮しました。

熱き夏の戦いの日

壮年ソフトボール 一回戦惜敗
家庭バレーボール 一回戦勝利
卓球 ※オープン参加のため以後試合なし
一勝四敗

各種目の試合結果は次のとおりです。



家庭バレーボールの試合
【会津坂下町会場】



ラージボール卓球の試合
【三島町会場】

将来の自分に誓いをたてて...

立志式

7月9日、三島中学校伝統の立志式が行われました。
立志の年を迎えた2年生4名は、それぞれに自分の気持ちを立志の言葉にして述べました。



▲二瓶健さん「七転八起」



▲熊谷祐衣さん「有言実行」



▲二瓶悠夏さん「独立独歩」



▲鈴木瑠希さん「凡事徹底」



▲布川芽依さん（3年生）による励ましの言葉

2年生の凛とした発表に、保護者のみなさんは確かな成長を喜ばれていました。
立志式を迎えるにあたり、中学校では、小学校からの学びを振り返り、志と夢を考え、将来を考える学習を繰り返してきました。将来につながる立志式になるように立志の意義を今後も子どもたちとともに確認しながら学びを深めていきます。



▲立志証書授与式



※中国の思想家で、儒教の祖である孔子が15歳のときに、自分の進むべき道を見つけ、それに向かって努力しようと決意したことから、数え年の15歳（現在の中学2年生）を子どもから大人になる年齢と考え、「立志（志を立てる）」と呼ぶようになりました。

三島中学生 沖縄に平和を学ぶ

～那覇の高校生とオンライン交流～

7月10日、三島中学校の生徒と、沖縄県那覇市の小禄高等学校の生徒がオンラインで情報交流会を実施しました。

沖縄戦から80年の節目を迎えた中、命の尊さや世界平和について理解を深めました。

両校の先生が知り合いという縁で実施し、三島中の全校生10人と小禄高校の生徒7人が参加しました。三島中の3年生4人は9月中旬に修学旅行で沖縄県を訪れ、平和祈念資料館や米軍嘉手納基地などを巡ります。

オンライン交流は、修学旅行の事前学習の位置付けで、三島中の生徒たちは「沖縄ではどんな平和学習に取り組んでいるのか」、「地上戦で失われた自然や変わった文化はあるか」などと尋ね、高校生の話に真剣に聞き入っていました。



6年ぶりに復活！大石田の虫送り

令和7年7月12日、令和2年からのコロナ禍以降休止していた、田畑の作物を荒らす害虫を集落から追い出したいとの願いを込めた大石田地区の虫送りが、地区在住の小学生2名とその保護者が中心となり、6年ぶりに実施されました。

地区の方々の協力のもと、10日ほど前から準備をはじめ、12日当日は午前8時に有志が集まって虫籠や山車づくりを行いました。

夕方からは、地区外の子供たちも集まり、旗に「悪虫送り」と書いたり、事前につくっていた紙製の提灯に絵を描いたりしました。

午後7時、今年は練り歩くルート为例年のものから変更し、地区の上手、高尾神社下からスタートしました。虫送りの行列が「でーんばーらむーしもおーくれよ（そおれ！）なーにむーしもおーくれよ（そおれ！）」と、皆で繰り返し唱えながら練り歩きます。久方ぶりの虫送りの行列を、地区の方々も大勢見物に訪れました。30分ほどで終点である下手のバツケ（崖）近くに到着。提灯や「悪虫送り」の旗、山車につけられた雑木、虫籠などがいっせいに燃やされました。



人権擁護委員による人権啓発活動

～「誰か」のことではなく「みんな」のこと、「あなた」のこと～

町内での人権啓発活動が6月から7月にかけて行われました。三島小・三島中では「人権の花運動」として、児童生徒がプランターなどにマリーゴールドやニチニチソウなどの苗を植えました。三島小では、人権擁護委員の本名光子さん（西方）と渡部繁信さん（大石田）と一緒に花植えをしながら、思いやりの心を育ててほしいと呼び掛けました。

また、工人まつりの会場においてパンフレットを配布し、人権問題は身近にあることを広めました。さらに、三島小での人権教室は7月10日、5年生と6年生を対象に行われました。本名さんと渡部さんが講師を務め、誰もが生まれながらに持つ権利である人権について講話しました。児童は心をテーマとしたアニメを視聴して、自分のことも相手のことも大切にすることについて考えました。

人権問題は「誰か」のことではなく、「みんな」のこと、「あなた」のことです。悩みを一人で抱えず、人権擁護委員や相談窓口にご相談ください。



みんなの人権 110 番 0570-003-110

こどもの人権 110 番 0120-007-110

女性の人権ホットライン 0570-070-810

インターネット人権相談 <https://www.jinken.go.jp/>

「こどもの人権相談」強化週間の実施

福島地方法務局と福島県人権擁護委員連合会は、本年8月27日から9月2日までの7日間、全国一斉「こどもの人権相談」強化週間として、いじめや嫌がらせ、虐待、体罰などこどもの抱える人権問題について、電話及びSNS（LINE）による人権相談を実施します。

相談は、人権擁護委員及び法務局職員が応じ、秘密は守られます。

期間中は、平日の夜間、土・日も相談に応じますので、お気軽にご相談ください。

期 間 令和7年8月27日(※)から9月2日(※)までの7日間

時 間 午前8時30分から午後7時まで ただし、8月30日(☎)・31日(☎)は午前10時から午後5時まで

電話番号 0120 (007) 110 (フリーダイヤル)

S N S LINE 公式アカウント名：「法務局 LINE じんけん相談」 検索 ID：@linejinkensoudan

☎福島地方法務局人権擁護課 ☎024 (534) 1994

【滝原】人足（7月6日）

佐久間 絹江さん

「梅雨明け？」の声が飛び交う暑い日曜日。
春の人足から2ヶ月が過ぎ、異常な暑さに雑草だけが生い茂り、獣の隠れ場所と化した藪が農作業の行く手を阻んでいた時期に除草作業が行われました。
町から提供されたマリーゴールドのプランターの前で、作業場所の確認後、手際よく行いました。
作業後は、軽く飲食を共にし、互いの近況や意見交換を楽しみました。



【西方】地域で守れ！国道400号（7月6日～11日）

本名 与四郎さん

国道400号を中心とした刈り払い作業は7月6日⑩から11日⑫までの5日間を中心に行われました。地区委員10名と地区委員OBの青木喜章さん、小松豊さん、五ノ井隆一さん、小柴光さんと地区支援員の高橋慎介さんも協力して、まだ陽が昇らないうちの作業となりました。
早朝5時より2時間程度の作業が行われました。10日⑩には、小雨の降る中、特に、柳津の麻生地区につながる県道ではガードレールやフェンスに蔓が幾重にも絡み合っていたり、雑草が道路に垂れ下がっていたりしている場所や、蜂の巣もあつたりと危険で難儀な刈り払い作業となりました。また、通称、ばっけ（バツケ）沢と呼ばれている、広い敷地の雑草は、人の背丈以上にも伸びており、委員の皆さんは大粒の汗をかきながら、黙々と作業を進める姿が見られました。
今年もお盆休み中にかけて多くの帰省客も予想され、往来する国道400号はスッキリとなりました。
三島町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しており、一端を担うことができたものと思われました。



「国道も 酷道にしちゃ おしまいよ」 「雑草に 負けずに頑張る 地域力」

【滝原】土用のおこもり（7月18日）

佐久間 絹江さん

19日の土用前日、駒形神社総代や地区の方々が集り、梅雨明けから暑くなる日々を健やかに過ごせるよう、神々に祈るおこもりを行いました。
神前にて、御神酒を酌み交わしながら、歓談しました。
昭和初期まで夜通し行っていたおこもりですが、地区の高齢化、人口減少、諸事情により、各行事の継続が難しくなりつつあります。しかし、そんな中、昔からの慣わしを守り継いでいきたいと行動している地区の方々が集まりました。



赤坂憲雄先生講座 北のはやり歌最終回「みだれ髪」開催

7月13日の15時から、森の校舎カタクリにおいて、奥会津書房主催による赤坂憲雄先生による北のはやり歌の最終回講座が開催されました。
講座では、昭和という時代が辿った戦争やそこからの復興という歴史的背景と、人々の思いが歌に歌われることにより、当時の人々だけでなく、今を生きる我々にまでいかに想い深く染みるものであることか。かつての思い出と、震災復興に際しての想いも絡ませ、解説いただきました。



▲ 講座の様子

福島県立博物館で荒屋敷遺跡出土品展示中（9月21日まで）

現在、福島県立博物館（会津若松市）において、テーマ展「三島町荒屋敷遺跡を考える」が開催され、町が所蔵する国指定重要文化財の荒屋敷遺跡出土品が展示されています。
土器や石器をはじめ、木を素材とする道具や、タケやササ類を素材とする編み籠（うろし）^{うろし}を利用した道具など、荒屋敷遺跡の生活とものづくりの実態がうかがえる品々が展示されています。現代の工芸にもつながる可能性のある縄文時代のものづくり、その技術が感じられる出土品の数々です。
また、同館のポイント展「遠くからやってきた弥生土器たち」でも、荒屋敷遺跡出土の「遠賀川系土器」^{おんががわ}が展示されています。東北での出土例があまりない、縄文時代から弥生時代への移行期の貴重な土器です。令和3年度に行われた修理後、初めての公開となっています。
どちらも9月21日⑩まで開催されています（観覧には、福島県立博物館で常設展観覧料をお支払いいただくことになります）。



▲ 展示の様子

地域交流会 「んだないっと！」の開催

町民の方、町内事業所の皆さん、役場職員など、三島町に関わる方々の交流を図る場として、三島町若者交流促進会と、三島町が共同で主催し、第1回地域交流会「んだないっと！（Nda night!）」が、7月18日、工人の館前駐車場で開催されました。
町内事業所の従業員の方を始め、個人経営者の方や役場職員など約40名が集い、夏の暑い夜にお酒を酌み交わしながら、三島町の事業、普段の生活、これから将来など様々な事について、事業所の垣根を超えて、多角的な視点から意見を交わす事ができました。



交流を深める参加者一同 ▶



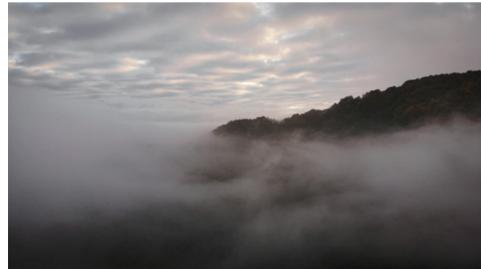
雲海の郷「間方」の「滝雲雲海」

三島町の景色で有名なものに、只見線の橋梁がありますが、「間方」では、特定の気候条件が揃い、間方の集落が霧に包まれた時に、峠の上や山の上から眺めると、雲海に包まれた山々の連なる景色を眺める事ができます。

また、もっと特殊な気候条件が揃った際には、「滝雲雲海」も見ることができるかもしれません。

全国の雲海スポットは絶景を求める観光客に人気が高く、多くの方が鑑賞に訪れます。滝雲雲海は、その中でもさらに珍しい自然現象です。

近くでは新潟県魚沼市の枝折峠しおりが有名で、多くの観光客が訪れますが、いずれ間方にも雲海鑑賞に多くの観光客が訪れるようになるのではないのでしょうか。



▲ 大辺峠から眺める雲海



▲ 昭和村側から溢れた霧が、滝雲となって大辺峠を下り落ちる

飯塚ミヨ子さん 百歳「賀寿」贈呈式



飯塚ミヨ子さん（大石田）の百歳賀寿贈呈式が行われました。飯塚さんは7月19日に誕生日を迎えられ、桐寿苑において矢澤町長からお祝い状と記念品、花束が手渡されました。

長寿の秘訣は「手先を使うことや本を読むこと」と話されていて、大変お元気な様子でした。

飯塚さんのますますのご長寿をお祈りいたします。

vol.101

健康で元気な毎日！

町民課保健福祉係 ☎48-5565

しっかり食べて

夏の暑さを乗り越えましょう！

連日の暑さで「最近食欲がないな…」と感じることはありませんか？

そんな方からお話を聴くと、夏は素麺そうめんやスイカ、アイスクリームなどの冷たいものばかりをよく食べるという方が多くいらっしゃいます。食事のバランスが崩れると、免疫が落ちて感染症にかかりやすくなったり、高齢の方はフレイルが進行したりなど、後の体調の変化が心配です。

※フレイル:足腰が弱り、食事の量も減ってきて体が衰弱している状態。



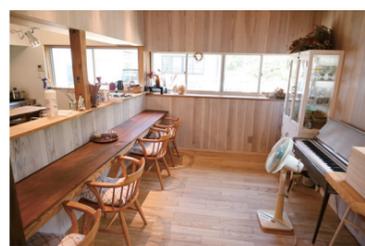
▲ 健康講座（6月5日）

1日に摂りたいタンパク質の目安

| |
|---------------------|
| 牛乳 200 ml |
| 卵 1個 |
| 魚 50 g (シーチキンなら缶半分) |
| 納豆 1パック (豆腐なら1/4丁) |
| 肉 50 g (ハムなら4枚) |

【タンパク質の不足に注意！】

夏場に不足しがちなのがタンパク質（肉や魚、大豆製品など）です。たんぱく質は細胞の修復や筋肉の維持向上に欠かせない栄養素！風邪予防、フレイル予防で1年を通して元気に過ごすために、意識して摂取しましょう。



【ベーベ食堂】

上ノ原地内の線路沿いにある新しい食堂です。空き家をリフォームして開業した店内は、明るくお洒落なカフェ風で、コーヒーだけでなく、おいしい食事を楽しめます。

三島の新しいぐるめを是非味わってみてください。



【からんころん】

三島町観光交流館「からんころん」で第2、4土日に宮下そばの会が提供する「風穴熟成手打ちそば」ですが、以前まであった「特盛」の量に満足できない猛者の方向けに、「極もりそば 美坂山」もあります。

三坂山（831 m）にちなみ、831gの超大盛となっております。

我こそはという方は、是非挑戦してみてください。

後期高齢者医療資格確認書および被保険者証の更新

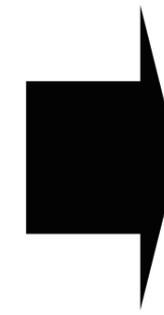
令和7年8月1日から

後期高齢者医療の資格確認書（被保険者証）
が**オレンジ色**に変わります。

令和7年8月1日から、資格確認書（オレンジ色）またはマイナ保険証を必ず医療機関窓口で提示してください。従来の被保険者証と同じように、医療機関を受診できます。

新 オレンジ色

| 後期高齢者医療資格確認書 | |
|-------------------|---|
| 有効期限 | 令和8年7月31日 |
| 交付年月日 | 令和7年8月1日 |
| 被保険者番号 | 01234567 |
| 住所 | 福島市広域一丁目〇〇番地 |
| 氏名 | 広城 太郎 男 |
| 生年月日 | 〇〇年〇〇月〇〇日 |
| 資格取得年月日 | 〇〇年〇〇月〇〇日 |
| 負担割合 | 〇割 |
| 限度区分 | 〇〇年〇〇月〇〇日 |
| 長病 | 〇〇年〇〇月〇〇日 |
| 特定疾病区分 | 〇〇年〇〇月〇〇日 |
| 保険者番号並びに保険者の名称及び印 | 3 9 0 7 0 0 0 0 0 0 福島県後期高齢者医療広域連合 印 |



※古い被保険者証もしくは資格確認書（ピンク色）は、町民課保健福祉係へ戻してください。

町民課保険福祉係

☎ (48) 5565

旧 **ピンク色**

| 後期高齢者医療資格確認書 | |
|-------------------|---|
| 有効期限 | 令和7年7月31日 |
| 交付年月日 | 令和6年12月2日 |
| 被保険者番号 | 01234567 |
| 住所 | 福島市広域一丁目〇〇番地 |
| 氏名 | 広城 太郎 男 |
| 生年月日 | 〇〇年〇〇月〇〇日 |
| 資格取得年月日 | 〇〇年〇〇月〇〇日 |
| 負担割合 | 〇割 |
| 限度区分 | 〇〇年〇〇月〇〇日 |
| 長病 | 〇〇年〇〇月〇〇日 |
| 特定疾病区分 | 〇〇年〇〇月〇〇日 |
| 保険者番号並びに保険者の名称及び印 | 3 9 0 7 0 0 0 0 0 0 福島県後期高齢者医療広域連合 印 |

| 後期高齢者医療被保険者証 | |
|-------------------|---|
| 有効期限 | 令和7年7月31日 |
| 交付年月日 | 令和6年8月1日 |
| 被保険者番号 | 12345678 |
| 住所 | 福島市広域一丁目〇〇番地 |
| 氏名 | 広城 太郎 男 |
| 生年月日 | 〇〇年〇〇月〇〇日 |
| 資格取得年月日 | 〇〇年〇〇月〇〇日 |
| 一部負担金の割合 | 〇割 |
| 保険者番号並びに保険者の名称及び印 | 3 9 0 7 0 0 0 0 0 0 福島県後期高齢者医療広域連合 印 |

地域おこし協力隊

活動誌

アーバンベアにご注意を!!

鈴木 亮

皆さん、こんにちは。鳥獣対策専門員の鈴木です。

近頃クマ関連のニュースでよく聞かれる「アーバンベア」という言葉があります。簡単に説明すると「人間を恐れず、人里を中心に出没するようになったクマ」のことです。令和5年に全国的に市街地へのクマの大量出没があり、以降よく耳にするようになりました。

三島町では、昨年まではこのようなクマは少なかったのですが、今年は日中に人家付近で目撃されるクマが急増しています。目撃されるのは1メートル前後の個体が多く、昨年从今年に親離れした若い個体だと思われず。目撃した方の話では「特に慌てる様子もなく道路を歩いて行った」そうですが、人間が急な行動を起こすとクマがパニックを起こし攻撃してくる可能性があるのです。こういったクマを見かけても「慌てず」「騒がず」「近づかず」をお願いします。十分な距離があれば



▲ 工芸館付近に出没したクマ

クマのほうから襲い掛かってくることは稀ですが、急な遭遇は襲われる確率が高くなるので、
①クマが身を隠せそうな林や草むらには近づかない
②屋外で活動するときはクマ鈴などを使い、早いうちから人の存在をクマに知らせる
③クマが家の近くまで来ないよう、クマのエサになるような物を家の近くに置かない。生ゴミは決められた時間、場所にきちんと捨てる
等を心掛けてください。
全国ではクマによる痛ましい事故も多発していますので、皆さん被害に遭わないよう十分お気を付けてください。

第7期生活工芸アカデミー始動 ～アカデミー生の活動紹介～



4月23日の開講式より、第8期生活工芸アカデミーの受講生3名が活動を行っています。現在はクルミを材料に手提げバッグを製作中です。時折、クルミ（5月）やアカソ（6月）などの材料採取を経験しながら、課題作品の制作を通して、奥会津編み組細工の技術を勉強しています。また実習と並行して、“生活工芸”や“奥会津編み組細工”についての座学を実施し、三島町の文化についても、理解を深めているところです。ほかにも7

月初旬にはモワダ採取に同行し、重いモワダの丸太を転がし、皮を剥いて、山での力仕事に汗を流しました。

今後、より多くの皆さまと交流ができればと考えておりますので、町で見かけましたら、お気軽にお声がけのほどお願いいたします。



▲ クルミの手提げ製作中



▲ モワダ採取

〈お盆期間中のものづくり体験について〉
8月9日㊤から8月17日㊦の間は、予約不要で体験実施可能です。どなた様も参加いただけますので、この夏は工芸館へご来館ください。※8/12㊧休館。都合により実施していないメニューもありますので、詳しくは、生活工芸館 HP をご覧ください。

☎ 三島町生活工芸館 ☎ (48) 5502

工芸館だより ㊥ ものづくりの伝承

図書のご案内

町民センターゆめぼけっと

※図書の返却は、返却ボックスに入れていただくだけで結構です。
返却時に端末の操作は不要ですので、そのままボックスにお入れください。
ご協力をお願いします。

☎ 公民館 ☎ (48) 5599

●今月のおすすめ

小説

野崎 まど 著



ある少年が小説への向き合い方を追い求める姿が描かれます。
物語が進むにつれて、登場人物たちの成長や彼らが直面する謎が巧妙に絡み合い、物語自体が小説という枠組みを超えて進化していきます。
そのタイトルが示す通り、「小説とは何か」という根源的な問いに挑んだ作品です。

●図書の紹介



大きな文字でもう一度読みたい
文豪の名作短編集

彩図社文芸部 編



眠っている間に体の中で
何が起きているのか

西田 昌規 著



みるみる図形に
強くなる

Team.StoryG 著



国環研だより 第84回

「寝苦しい夜」が危険！夜間熱中症を防ぐ睡眠環境づくり

三島町のみなさま、こんにちは。7月下旬になり、暑さはより激しさを増しています。

7月21日には、福島市で38.5℃、伊達市梁川で38.6℃を記録し、県内13地点が猛暑日に見舞われました。全国でも「2～3番目に暑い日」となる異常な高温です（7月21日TUFテレビユー福島）。

今回は前回に引き続きこの猛暑への「適応策（気候変動の影響を減らすための対策）」についてご紹介します。

夜間熱中症に注意！

こうした猛暑が連日続く中で注意したいのが、「夜間熱中症」です。熱中症といえば昼間に屋外で発症しやすいイメージですが、実は睡眠中の屋内でも発生します。環境省の調査では東京23区における熱中症による死亡者の中で、約3割は夜間で発生したとあります。

最近でも昼間が猛暑で気温が上がっているため、夜になっても気温がなかなか下がらず、熱帯夜（夕方から翌日の朝までの最低気温が25℃以上になる夜のこと）となる日が多く出ています。また、人間は寝ている間も汗をかいて水分が奪われます。寝ている間に一晩で500mlの水分が失われている、というデータもあるくらいです。

そんな熱帯夜では寝苦しくて満足に休息もできず、寝ている間ですと脱水を感じにくいいため、就寝中の熱中症リスクが高くなってしまいます。

特に、高齢者や乳幼児、疾患を持つ方は熱中症の自覚症状が出にくく重症化しやすいため、「夜中に目が覚めて体調が悪化していた」というケースも少なくありません。

夜間熱中症の対策は？

みなさんは寝るときに、エアコンをどうしていますか？

寝るときはエアコンを切っている方や、寝る前にタイマーをセットして寝ている間にエアコンが切れるように設定している方が多いかと思います。しかし、寝ている間に気温が上昇したり、人間の呼吸などで部屋の湿度が上昇したりすると、熱中症リスクが高まってしまいます。夜も25℃を下回らないような熱帯夜ではエアコンを朝までつけっぱなしにすることが推奨されています。冷房を付けたくない方は除湿をして湿度を下げるだけでも予防につながります。また、寝る前に200ml程度の水分補給をすることもおすすめです。これにより睡眠中の脱水を軽減できます。寝る前だけでなく、もし夜中にトイレに起きたら、その際に少し水分を補給するのも良いでしょう。

室内ではこうした熱中症のリスクに気づきにくいいため、温度計や温湿度計で環境を「見える化」することも大事です。

省エネ以上に命と健康が優先

脱炭素や省エネといった地球温暖化への「緩和策」も必要ですが、連日続く異常な暑さのなかでは、「自分の命を守る」ことを最も優先すべきです。昨今の猛暑を健康で快適に過ごすことは、最も身近な「適応策」となりますので、まずは夜のエアコン設定や寝室環境を整え、体調変化に敏感になりながら、快適で健康的な夜を目指していきましょう。

【参考】

- ・TUF テレビユー福島「福島市で38.5℃、県内13地点で猛暑日を記録」
<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/tuf/2059139>
- ・環境省「熱中症による死亡者の発生時間帯等に関する分析」
<https://www.env.go.jp/council/05hoken/y050-45/900420591.pdf>
- ・同友会グループ「“夜間熱中症”にご用心」
<https://www.do-yukai.com/walk/020.html>
- ・NHK 災害特設サイト「熱中症対策「夜間・熱帯夜」エアコンや水分補給の注意点」
https://www3.nhk.or.jp/news/special/saigai/basic-knowledge/basic-knowledge_20220831_03.html

筆者 常盤 達彦

国立環境研究所福島地域
協働研究拠点地域環境創生研究室
☎ 0247 (61) 6572

町史編さん室だより

第115回

現三島町域における、かつての筏流し

伐り出された材木を筏にし、只見川から阿賀川、阿賀野川へと流送する筏流しという輸送方法が、少なくとも江戸期から、阿賀野川水系にダムがいくつかでき、また陸送が盛んになる昭和20年代前半くらいまで見られました。

猪俣悦三氏の遺稿『阿賀川の筏搬送』からの引用となりますが、西方の山垣家には明治2年（1869）、西方筏改番所から津川の番所に宛てた、南山御蔵入（今でいう奥会津あたり）から伐採した材の搬送を許可する覚書が遺されています。

覚

平瀬村 由之丞

一 筏八房

壹房二付但朴材七歳以上百四百拾丁

壹房二付三千七百坪合貳万九千六百坪

右者南山御蔵入を伐出候間

筏此度越国拂差出候間

其口可被相通候 以上

巳四月 西方筏改番所 印

津河口御番所

さて、筏流しに関連したものとしては、現三島町域では、早戸にあったダイゴロシという名称の難所が有名です。大正2年（1913）に福島県知事が大沼郡を巡視した際の、郡長からの報告記録に「只見川沿岸八皆林産地ナルカ木材八総テ筏二組ミ只見川ヲ流ササルヘカラサルモ同川ニ八大



▲昭和10年前後か 早戸、筏の上での記念写真(板橋佐内氏提供)

ご家庭に古い文書や写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。
☎(52)2165

根卸シ（川西村地内）筏返シ（横田村地内）ト称シ大小ノ岩石河底ニ乱立シテ平水ニテハ不通ノ所アルヲ以テ運輸ニ便ナラス」というものがあります。このダイゴロシが筏師の命を奪いかねない難所であったことは、津川港の甚句に「わたしの恋人 上川筏 案じられます 早戸前」（上川筏は伊南川・只見川からの筏流しをいう）という一

又も難所は 早戸前なら 三更落としに 大根卸し 神に参りて 難所を下り 早戸温泉 鶴の湯泊まり 滝原通りて 江戸屋泊まりは 宮下村では 川井新道大登 昔宿場の 西方過ぎて 檜原の巻で 巻出し終わりで

といったもので、難所、地名、宿などが唄われています。現三島町域における筏師の宿は、唄われた鶴の湯や江戸屋旅館のほか、丸二旅館、細川旅館、高清水の矢澤某家があったと安藤紫香氏はその著書で挙げています。町でも筏師が權を手に陸に上がり、宿の外に權を立て掛けていたことを記憶している方もいます。

また、筏に組むための材木の結束材には、主にフジツルが使われました。現三島町域の川沿いの集落では、このフジツルを筏師に売り小遣い稼ぎをしたこともあったといえます。そのほか、支流である大谷川と只見川が合流するあたりに、大谷川から一本ずつ流した材木を筏に組み立てる場所があったと記された文書もあります。

参考文献 猪俣悦三『阿賀川の筏搬送』

安藤紫香『伊南川只見川 筏とさなかし』

（町史編さん室）



町からお知らせ

ご寄附ありがとうございました(6月分)

ふるさと納税

- 楠美淳二様(千葉県)
- 松村大士様(愛知県)
- 坂上元子様(新潟県)
- 佐藤初美様(山形県)

寄附件数 34件 計 505,000円

8月分納税のご案内

【納期限 9月1日(月)】

- ▼ 町県民税 (普通徴収)(第2期)
 - ▼ 後期高齢者保険料(普通徴収)(第1期)
- 忘れずに納付してください。

☎町民課 町民係 ☎(48) 5555

町の人口と世帯(7月1日現在)

| | | | | | |
|----|-------|-----|----|----|---|
| 人口 | 1,307 | 増減数 | -4 | 出生 | 0 |
| 男 | 661 | | -2 | 死亡 | 3 |
| 女 | 646 | | -2 | 転入 | 0 |
| 世帯 | 668 | | -3 | 転出 | 1 |

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

社会福祉協議会より

| | | | |
|-----------|------------------------------------|-------------------|------------------------------------|
| 大石田友遊サロン | 8月4日(月) 午前10時から 大石田集会所 | 大清水・小山 いきいきサロン | 8月21日(木) 午前10時から 高清水集会所 |
| 大登サロン | 8月4日(月) 午後1時30分から 大登生活改善センター | サロンなごみ | 8月21日(木) 午前10時から 西方ふるさとセンター |
| 椋原はつらつクラブ | 8月5日(火) 午前10時から 椋原集会所 | サロンないり | 8月25日(月) 午前10時から 名入集会所 |
| 間方いきいきクラブ | 8月8日(金) 午前10時から 間方集会所 | 西方ほがらかサロン | 8月25日(月) 午前10時から 森の校舎カタクリ |
| 川井友愛サロン | 8月18日(月) 午前10時から 川井集会所 | 浅岐あったかサロン | 8月26日(火) 午前10時から 浅岐集会所 |
| ひまわりサロン | 8月18日(月) 午前10時から 町民センター | 大登サロン | 9月1日(月) 午後1時30分から 大登生活改善センター |
| 滝谷和楽塾 | 8月19日(火) 午前10時から 滝谷集会所 | 椋原はつらつクラブ | 9月2日(火) 午前10時から 椋原集会所 |

町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

目黒 裕 邦 様(滝谷)

☎社会福祉協議会 ☎(52) 3344

消防署からのお知らせ

夏の暑さに注意！！

今年も酷暑・熱帯夜です。避暑の重要性・手段を再度確認し、事故を防ぎましょう。

また、アウトドア等での事故も多く発生する時期です。十分に安全対策をしたうえで楽しみましょう。

- ①熱中症対策
 - ・水分、塩分のごまめな補給
 - ・高温の時間帯を避けて行動する
 - ・環境を整える(エアコン、日陰、保冷剤等)
- ②水難対策
 - ・単独行動せず専門家がいて遊ぶ(ツアーガイド、ライフセーバー等)
 - ・許可された区域で遊ぶ(遊泳区等)
- ③山岳事故対策
 - ・単独行動しない
 - ・許可された範囲で遊ぶ(山岳ガイド、登山ルート等)
 - ・動物や虫を忌避する(熊鈴、服の色、スプレー等)
- ④イベント等での事故対策
 - ・バーベキューや花火は水バケツをセットで用意
 - ・お祭りやライブは水分塩分補給、アルコールの量に注意

山岳地域は天候の急変がよくあります。登山中でも下流域で遊ぶ場合でも、こまめに天候を確認して、安全を確保しましょう。

また、体調や天候に左右されても楽しめる、余裕のある日程を計画しましょう。

☎会津坂下消防署 三島出張所
☎(52) 3032 / FAX (52) 3033

会津坂下警察署からのお知らせ

クマ注意報発令！

クマによる人的被害が発生しています。登山や釣りなどの屋外レジャーの際にクマを警戒することはもちろんですが、最近では山間部だけではなく、住宅街や商業施設などにも出没するおそれがあります。

クマによる被害を防止するために、

- ・クマの足跡や糞を発見したらその付近から離れる
- ・クマが活発に行動する朝夕の外出を控える
- ・クマの通り道である河川敷や藪の草刈りを行う
- ・敷地内への侵入を防ぐために車庫や倉庫の戸締まりを行う

等の対策を推進しましょう。

警察官を騙る詐欺にご注意を！

警察官が...

- ・SNSで連絡することはありません
- ・ビデオ通話で警察手帳や逮捕状を見せることはありません
- ・操作等の名目でお金などを要求することはしません

※国際電話番号が悪用されています！
・国際電話番号とは...
電話番号の先頭についている+以降の数字は国コード(国番号)です。「+81」は日本の国コードで、それ以外の国コードで電話がかかってきた場合、注意が必要です。

☎会津坂下警察署警務係 ☎0242 (83) 3451

ポリテクセンター会津
9月開講の職業訓練生募集及び見学会について

| | | |
|------------|---|--|
| 募集コース・募集定員 | ・テクニカルオペレーション科 【機械CAD・生産サポートコース】9名 ・電気設備技術科【電気設備技術コース】12名 | 施設見学会 |
| 募集期間 | 2025年7月11日(金)～8月6日(木)まで | 開催日時 |
| 選考日 | 2025年8月8日(金) | 毎週(木) 14:00～15:45(受付13:30～) |
| 受講料 | 無料 | 内容 |
| 訓練期間 | 2025年9月2日(火)から2026年2月27日(金)まで(6ヶ月間) | ・当センターの「職業訓練」について理解していただくことを目的として、毎週開催しています。 ・見学後に訓練体験ができます。 ・見学会申込みは、最寄りのハローワークまたはポリテクセンター会津へご連絡ください。 |
| 備考 | 公共職業安定所に求職登録されている方で、職業訓練の受講が望ましいと判断された方 | |

【訓練の申込】

最寄りのハローワーク窓口でお申し込みください。
窓口でご相談のうえ、「受講申込書」(写真(縦40mm×横30mm)1枚貼付)をご希望のコースの募集期間内にハローワークへ提出してください。

※訓練のお申し込みの前に施設見学会に参加されることをお勧めしています。

☎ポリテクセンター会津 訓練課 ☎0242 (26) 0520

もっと自然で！もっと自由に！ もっと楽しく！ みさかDEあそぼ！2025



イベントに合わせた町内周遊バスも運行！
JR只見線の発着時刻に合わせて臨時バスを運行します。
※詳しくは8/1のお知らせ版&ホームページでお知らせ

開催日程

8/11月 12火
AM10:00~PM3:00

場所

三島町大字大石田一ノ原地内
美坂高原
※携帯電話は繋がりませんが、
フリーWi-Fiが使用できます。

入場料

無料



遊ぶ

子ども用プールやシャボン玉、
自転車、遊具など、楽しい遊び
道具を貸し出しています。自然
の中で自由にのびのびと遊べま
す！

食べる

地元の味が楽しめるフードコー
ナーがオープン！
町内事業者が自慢のメニュー
をご用意しています。

アウトドア

大自然の中でキャンプやバーベ
キューを楽しめるスペースを開
放しています。
大自然の中で心も体もリフレッ
シュしませんか♪



三島町役場地域政策課
☎0241-48-5533

この事業は令和7年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）を活用しています。